

あいはらくみこ

対談

西川委員長



ともに「あいくみ」 すべての労働者に公平・公正な労働基本権を！

わが組合は、7月29日に投票が予定されている参議院選挙比例区に、自治労組織内協力議員立候補者として「あいはらくみこ」さんの推薦を決定しています。

あいはらさんは精力的に全国を飛び回っている中、清掃の職場訪問活動も数回にわたって行いました。職場の実態を自らの目で確かめ、組合員の声を直接受け止めて政治の場に反映させたいという思いで奮闘を続けています。

今回は、本部に立ち寄った際の西川委員長との対談をお伝えいたします。

西川委員長

連日、ご苦勞様です。

政府・与党の強引な国会運営で国会の会期末が延長され、それに伴って参院選の投票日も当初の予定よりも一週間延期されました。数の力を背景にした冷静さを欠いた異常な事態だと思っています。

年金問題の混乱を労働組合に責任転嫁するなど、すべて労働組合が悪いのような世論操作がされています。組合役員の一人として非常に腹立たしい限りですが、そういった意味でも今回の参議院選挙は、労働組合の存亡を掛けた重要な位置づけと言っても過言ではないと思っています。

あいはらくみこ

委員長のおっしゃるとおり、常軌を逸した国会運営でした。国会最終盤の焦点だった公務員制度改革関連法や社会保険庁改革関連法、年金時効撤廃特例法など一連の重要法案が十分な審議が尽くされずに、不正な形で採決されるという、いまだかつてない異常な国会でした。何としても今回の参議院選挙は、与党に対してレッドカードをつきつける結果を出さなければなりません。そうでないと、日本がとんでもないことになります。重要な選挙です。

投票日が延びたのは、支持を集める期間をさらに一週間いただいたと受け止めることにしています。

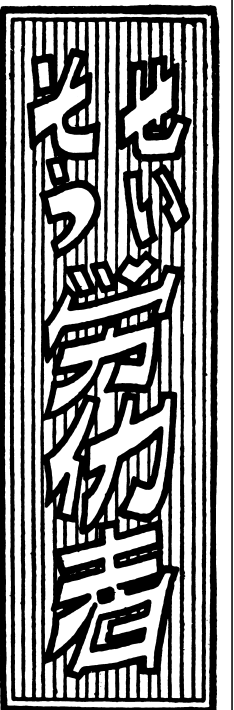
西川委員長

忙しい中、私たち清掃の職場を訪問いただきました。毎年、の合理化攻撃で厳しい職場実態があります。実態を顧みない合理化攻撃や安易な民間委託は、清掃事業そのものを危うくすることにつながります。清掃事業というのは、住民に安全、安心、快適な住環境を提供するという公共サービスです。行政として、しっかりとその責任を果たさなければならない事業です。

清掃の職場訪問では、どんな印象を持たれましたか。

あいはらくみこ

私は北海道出身なんですが、東京に来て驚いたことの一つに、清掃工場の規模の大きさがあります。そして、これだけの規模の工場が東京23区民の住環境の真ん中



東京清掃労働組合
千代田区飯田橋3-9-3
TEL (3237) 9995
毎月5日15日25日発行
1部20円
編集責任
教宣部長
大熊孝典

わが組合の綱領

- 一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
- 二、われわれは労働の社会的意義を顕揚し、都区政の徹底的民主化を期す。
- 三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。

主な内容

対談

参議院選特集 あいはらくみこ 西川委員長

対談

あいはらくみ子 vs 西川委員長



にあることにも驚きました。

工場組合員の方に工場の中を案内いただく機会があったのですが、これだけの規模のプラントを安全で安定的に運転するために、現場の第一線の皆さんが並々ならぬご努力をされているのに心から感心しました。収集職場でも、危険と隣り合わせの作業実態や区民にとって快適な住環境を提供するために、ご努力されていることがよく分かりました。

清掃事業というのは一日たりともゆるがせにできない事業なんですね。

今の世の中、利潤追求が優先されて、安全が二の次になっていると多くの人が感じています。企業も責任を持たないといけません、行政は先頭で責任を持たなければいけません。

西川委員長

忙しい中を現場の組合員の声に耳を傾けていただいていることに、私からも感謝を申し上げます。そういう「現場主義」のあいはらさんの姿勢が多くの組合員の共感を

得ているのだと思います。

清掃の職場以外にも全国の地域や職場を回られているとお聞きしていますが、どんな印象をお持ちですか？

あいはらくみ子

全国の職場を回らせていただいて、地方や職場がめちやくちやになっている。これが実感です。「職場にいて、本当に地域間格差を感じる」「職員がぎりぎりの状態で職場を支えている」「産休も遠慮して取っている」「慢性的な人員不足で休職者が増えている」「マスコミの過剰な公務員攻撃に怒りを感じる」「まじめに働いても評価されない」「こんな切実な声が、どこの職場からも聞かれます。そして「変えてほしい」という皆さんの願いが、私のパワーの源になっています。

西川委員長

今、公務員バッシングが盛んに行われています。例えば、昨年の人事院勧告では、政治的意図で比較対象企業の規模が一方的に変えられ、賃金改悪が強行されました。その他にも現業職員の賃金が高いという問題意識が示されるなど、現業差別とも言えるような攻撃がされています。

こうなると、政治を変えなければどうにもならないと思います。

あいはらくみ子

本当にそうです。今、公務員の組合が邪魔だと攻撃を受けていますが、私たち自治体や公共民間の労働組合だけではなく、官も民も含めた労働組合そのものがないがしろにされているんです。

私は、臨時職の出身だから特に思うのですが、正規職員、臨時職、官、民、区別するのではなくて、みんなの力で、格差や差別をなくし、地域を大切にする政治に変えることが、今一番大事です。全国の職場を回って、いただいた「切実な思い」を背に、ぜひ参議院選挙では、さちんとした結果を出したいと思っています。

額に汗を流して、まじめに働いている人たちが報われる世の中になればいいですね。

西川委員長

まったくですね。



ずばり、あいはらさんが政治の場で何よりも実現したいことはなんですか？

あいはらくみ子

すべての格差の解消を実現したいです。官・民、典型・非典型、男・女、地域間など、現実にはたくさん格差があります。私が今まで労働組合で培ってきた経験を活かしながら実現に向けて努力していきます。

西川委員長

最後になりますが、健康に気をつけて、残された期間頑張ってください。私たち東京清掃労働組合も精一杯応援します。

あいはらくみ子

全力を尽くします。今日は、どうもありがとうございます。

あいくみ宣言

ともに「あいくみ」格差をなくそう

宣言①ともに「あいくみ」働きやすい職場環境を。

働きやすい職場を確保することは、豊かな人生を送る第一歩です。しかし、政府の進める政策は雇用の劣化を招くばかり。私は、公正な労働基準を確立するため、最低賃金の引き上げ、長時間労働を規制する法律、パート・有期契約労働法をつくります。

宣言②ともに「あいくみ」差別のない平和な社会に。

あらゆる暴力、差別、人権侵害をなくし、平和な社会づくりを実践します。そのために、個人のライフスタイル選択に中立的な社会保障制度の確立、女性の人権を守る法整備、人権侵害救済法の制定、憲法前文および9条の堅持と米軍基地の縮小に取り組みます。

宣言③ともに「あいくみ」質の高い公共サービスを。

ただ普通に生きること「チャレンジ」を強要する社会は不安しが生みません。質の高い公共サービスは格差を是正し、市民の安心と生きる勇気を育てます。患者の立場からの医療制度改革、国民皆年金の確立、介護の充実、それらの理念を定める公共サービス基本法をつくります。

宣言④ともに「あいくみ」地方の声を政界に。

日本を活性化するには、生き生きとした地域社会の確立が必要です。分権の時代にふさわしい、自治体の一般財源の確保、市民参加による地方議会改革をめざします。また、ダンピング防止に役立つ「公契約法」を制定し、地域経済の発展をめざします。

宣言⑤ともに「あいくみ」労働基本権の確立。

働く人が主人公と思える職場づくりには、対等な労使関係の構築が絶対に必要です。一般公務員の賃金・労働条件を団体交渉で決めるための労使協議制を導入します。また職場の重要な人材である臨時・非常勤等職員の賃金・労働条件の改善をめざします。

